

ICHIKAWA SCIENCE25

課題研究交流会と中間発表会が近づいて参りました。課題研究交流会は他校生との交流を主眼としたもので、ポスター発表形式です。中間発表会はパワーポイントを使用した口頭発表形式です。

いずれもここまでの途中経過を報告してもらう機会と言った意味合いを持っています。これらの機会を活用することで、これまでの自分たちの活動を振り返り、次のステップにつなげましょう。

今回は、中間発表会で使用するパワーポイント作成をメインにして、交流会においてはそれを貼り付ける、などの工夫で時間を節約して欲しいと思います。

曜日によっては活動日が少ないので以下の活動日を参考にしてください。

なお、3学期は最終的な結論を報告して論文をまとめ、年度末報告会ではポスター発表会と口頭発表会を開催します。また、その折には海外のお客さんを招待するので英語発表も用意してもらいます。

2学期末までの活動日

金曜グループ

10/29 金曜日	
11/5 金曜日	
11/12 金曜日	
11/26 金曜日	
11/27 土曜日	課題研究交流会 (物化数)
12/3 金曜日	中間発表会
12/23 木曜日	課題研究交流会 (生)

火曜グループ

11/2 火曜日	
11/9 火曜日	
11/16 火曜日	
11/27 土曜日	課題研究交流会 (物化数)
11/30 火曜日	
12/7 火曜日	中間発表会
12/23 木曜日	課題研究交流会 (生)

水曜グループ

11/10 水曜日	サイエンスダイアログ
11/17 水曜日	
11/24 水曜日	
11/27 土曜日	課題研究交流会 (物化数)
12/1 水曜日	
12/8 水曜日	中間発表会
12/23 木曜日	課題研究交流会 (生)

各グループでよく考えて予定を立てましょう。

課題研究交流会について

物理, 数学, 地学

日時: 平成 22 年 11 月 27 日 土曜日 14:30~
場所: 市川学園 コミュニティープラザ及び物理室
対象: 県内理数科設置校, SSH 校, SSH 経験校
目的: 課題研究に取り組む生徒に、中間段階での実験結果および思考の整理をさせる機会とし、生徒同士の交流により相乗効果を狙う。
形式: ポスター発表形式 登録された生徒には B0 サイズの可動式パネル片面が与えられる。その面を自由に使用してプレゼンテーションを行う。

進行予定:

14:30	集合完了, 設置開始	物理室
14:45	開始の挨拶	コミュニティープラザ
14:50~15:50	前半グループ発表	コミュニティープラザ
15:50~16:50	後半グループ発表	コミュニティープラザ
17:00~17:30	生徒交流	物理室

化学

実施日時平成 22 年 11 月 27 日 (土)
14:30 から 3 時間程度 (17:30 までには終了)
場所県立船橋高等学校 (理科室、会議室を使用)
対象高校生課題研究発表会の参加校 (SSH 校、理数科設置校等)

内容

- ・「短時間(2分程度)の口頭発表+ポスター発表」を主な内容とする。他に、交流を目的とした簡単な企画も検討する。
- ・できるだけ気軽に発表できる場とする。生徒達が問題点・悩み等を出し合い、その後の研究に役立てるとともに、研究に対する意識・意欲を高める。
- ・関心を持った他校の発表について、(生徒達に)感想や意見を書かせ、それを該当する生徒(研究者)に渡すようにする。

その他

- ・ポスターのサイズは、模造紙 1 枚程度を目安とする。ただし、千葉大学の理科研究発表会で使用したポスターの大きさ (90cm x 180cm) までは可とする。

(当日の日程)

14:30	集合 (会議室)
14:30~14:45	当日の発表方法の説明
14:50~15:50	グループ A 発表 (理科室)
15:50~16:50	グループ B 発表 (理科室)
17:00~17:30	(交流を目的とした簡単な企画)
14:30 までに	ポスター掲示を行う。

生物

実施: 12 月 23 日(木)9:00 から。12 時半までには終了。
場所: 千葉市立千葉高校 (ホールを使用)
対象: SSH 指定校、指定終了校、理数科設置校
内容: ポスター発表

- ・冒頭各グループ 1 分でスライド 1 枚を写して「何をしたか」を紹介する。
- ・要旨集を作成。11 月末が締め切り。
- ・生徒同士の交流でモチベーションを上げることと、3 月の発表会に向けて研究内容の修正や追加を行うことが目的。

(当日の予定) 9:00~ 9:30 受付

9:30~10:00	口頭発表 1 分 x 30 グループ
10:00~12:00	ポスター発表 50 分 x 2
12:00~	講評